

2022年3月期 第1四半期 決算説明

三菱ケミカルホールディングス

2021年8月4日

2017年3月期 第1四半期よりIFRS (指定国際会計基準) を適用しております。

目次

<2022年3月期 第1四半期 連結決算>

・連結損益計算書	・・・	4
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	5
・コア営業利益(全社) 増減要因	・・・	6
・事業セグメント別 業績概要	・・・	7
・非経常項目	・・・	11
・連結キャッシュ・フロー計算書	・・・	12
・連結財政状態計算書	・・・	13

<2022年3月期 上期業績予想修正>

・業績予想 連結損益計算書	・・・	15
・業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益	・・・	16

<参考資料①>

・連結損益計算書 四半期別推移	・・・	18
・事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移	・・・	19
・各報告セグメントの事業部門	・・・	20

<参考資料② 田辺三菱製薬 決算概要>

・2021年度 第1四半期 決算概要	・・・	22
--------------------	-----	----

2022年3月期 第1四半期 連結決算

連結損益計算書

		109.8	107.4	109.7	2.4	2%	0.1	108.0	
為替レート (¥/\$)				45,400	22,700	91%	2,300	48,000	
ナフサ単価 (¥/kl)			25,000						
		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	20/3月期 1Q実績	増減	増減率	増減 対20/3月期 1Q実績	<参考> 5/12発表 上期予想	進捗率
継続事業 *2	売上収益	9,283	7,227	9,164	2,056	28%	119	17,740	52%
	コア営業利益 *1	887	150	701	737	491%	186	1,025	87%
	非経常項目	△ 17	87	△ 2	△ 104		△ 15	△ 20	
	営業利益	870	237	699	633	267%	171	1,005	87%
	金融収益・費用 (内、受取配当金)	△ 17 (38)	△ 33 (25)	△ 33 (29)	16 (13)		16 (9)	△ 70 (27)	
	(内、為替差損益)	(△ 0)	(0)	(△ 3)	(△ 1)		(3)	(0)	
	税引前利益	853	204	666	649	318%	187	935	91%
	法人所得税	△ 261	△ 122	△ 182	△ 139		△ 79	△ 330	
	継続事業からの四半期利益	592	82	484	510		108	605	
	非継続事業からの四半期利益	-	-	5	-		△ 5	-	
四半期利益	592	82	489	510		103	605		
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	499	52	378	447	866%	121	440	113%	
非支配持分に帰属する四半期利益	93	30	111	63		△ 18	165		

*1 内、持分法投資損益

46

2

50

44

△ 4

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

コア営業利益は、営業利益(又は損失)から非経常的な要因により発生した損益(事業撤退や縮小から生じる損失等)を除いて算出しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

		(億円)			<参考>
		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減	5/12発表 上期予想
全社	売上収益	9,283	7,227	2,056	17,740
	コア営業利益	887	150	737	1,025
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	801	601	200	1,390
	コア営業利益	80	20	60	75
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	1,202	943	259	2,160
	コア営業利益	153	52	101	180
アドバンストソリューションズ	売上収益	828	690	138	1,690
	コア営業利益	33	41	△ 8	70
機能商品	売上収益	2,831	2,234	597	5,240
	コア営業利益	266	113	153	325
MMA	売上収益	776	480	296	1,350
	コア営業利益	123	△ 19	142	170
石化	売上収益	1,604	933	671	3,130
	コア営業利益	160	△ 143	303	20
炭素	売上収益	539	444	95	1,000
	コア営業利益	65	△ 14	79	50
ケミカルズ	売上収益	2,919	1,857	1,062	5,480
	コア営業利益	348	△ 176	524	240
産業ガス	売上収益	2,168	1,829	339	4,150
	コア営業利益	238	135	103	450
ヘルスケア	売上収益	984	952	32	1,950
	コア営業利益	47	89	△ 42	30
その他	売上収益	381	355	26	920
	コア営業利益	△ 12	△ 11	△ 1	△ 20

【受払差】

ポリマーズ&コンパウンズ	10	△ 1	11
石化	90	△ 147	237
炭素	△ 6	△ 5	△ 1
合計	94	△ 153	247

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(アドバンストソリューションズ)へ変更しております。これに伴い、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

*3 22/3月期1Qより中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」における成長事業領域に対応した組織体制の構築に伴い、機能商品の内訳を従来の「機能部材」、「機能化学」の2区分から、「ポリマーズ&コンパウンズ」、「フィルムズ&モールディングマテリアルズ」、「アドバンストソリューションズ」の3区分に変更しております。同時に、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しており、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

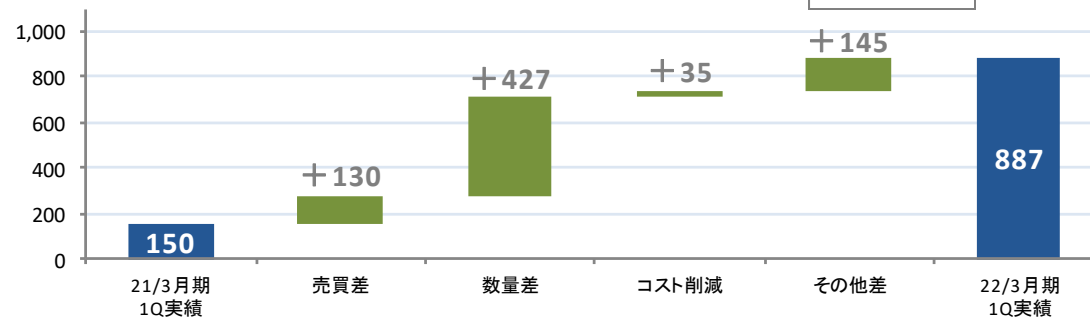
コア営業利益 (全社) 増減要因

(億円)

	22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減				
				売買差	数量差	コスト削減	その他差 *1
全社	887	150	737	130	427	35	145
機能商品	266	113	153	△ 16	176	8	△ 15
ケミカルズ	348	△ 176	524	145	121	25	233
産業ガス	238	135	103	23	97	0	△ 17
ヘルスケア	47	89	△ 42	△ 20	31	2	△ 55
その他	△ 12	△ 11	△ 1	△ 2	2	0	△ 1

*1 その他差には、受払差・持分法投資損益差等の金額が含まれております。

為替影響	16	25	1	-	△ 10
うち換算差	12				



機能商品セグメントの業績概要

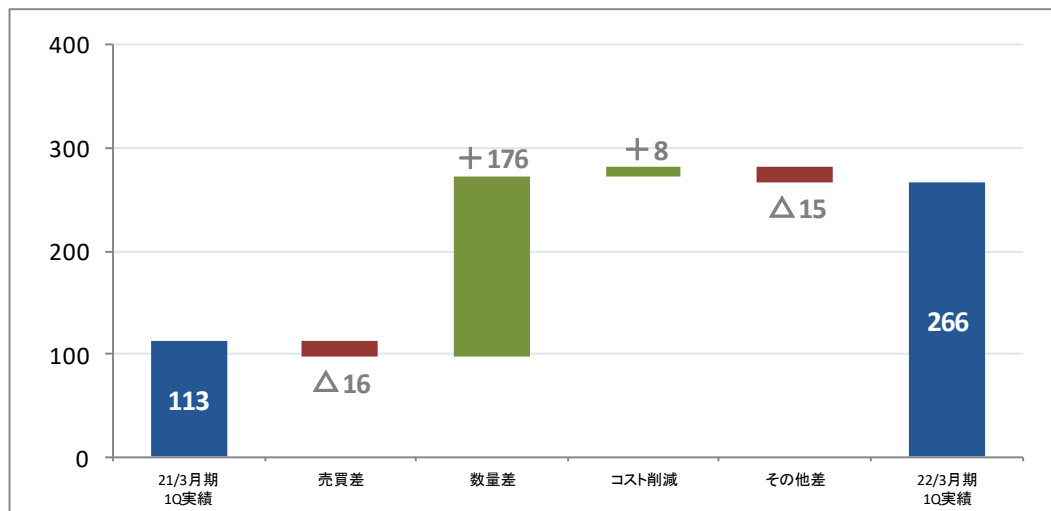
(億円)

		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減
ポリマーズ & コンパウンズ	売上収益	801	601	200
	コア営業利益	80	20	60
フィルムズ & モールディング マテリアルズ	売上収益	1,202	943	259
	コア営業利益	153	52	101
アドバンスソリューションズ	売上収益	828	690	138
	コア営業利益	33	41	△ 8
機能商品	売上収益	2,831	2,234	597
	コア営業利益	266	113	153

<セグメント内識別 業績概要>

ポリマーズ & コンパウンズ	売上収益	自動車向け等の販売数量が増加したことに加え、ポリマーズの一部製品における市況が上昇。
	コア営業利益	パフォーマンスポリマーズ等の自動車向け販売数量増加等により増益。
フィルムズ & モールディング マテリアルズ	売上収益	モールディングマテリアルズの自動車向け等に加えて、フィルムズのディスプレイ向け光学用途等の販売数量が増加。
	コア営業利益	原料価格の上昇はあったものの、販売数量の増加により増益。
アドバンス ソリューションズ	売上収益	需要の回復に伴い販売数量が増加。
	コア営業利益	販売数量の増加あるも、原料価格上昇等により前期並み。

<コア営業利益 増減要因>



<トピックス>

- 三菱ケミカル社は、炭素繊維強化プラスチック製自動車部品の製造販売会社であるC.P.C.社において、世界最大級となる5,000トン容量大型プレス成形機の増設を含む設備投資を2021年4月に決定。2023年中の設備稼働を目標とする。
- 三菱ケミカル社は、中石化三菱化学聚碳酸酯(北京)有限公司の保有株式を、2021年10月末を目途に中国石油化工有限公司に譲渡することについて同年5月に同社と合意。
- 三菱ケミカル社と日本製鋼所社は共同で、窒化ガリウム(GaN)単結晶基板の量産に向けた実証設備を日本製鋼所 M&E 室蘭製作所構内に2021年5月に竣工。2021年度にかけて量産に向けた実証実験を行い、2022年度初頭からの市場供給開始を目標とする。

ケミカルズセグメントの業績概要

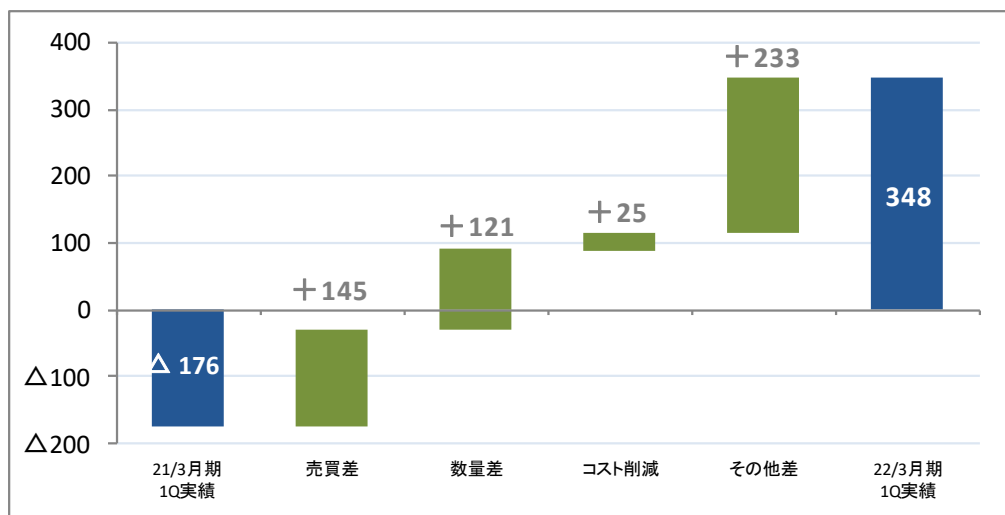
(億円)

		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減
MMA	売上収益	776	480	296
	コア営業利益	123	△19	142
石化	売上収益	1,604	933	671
	コア営業利益	160	△143	303
炭素	売上収益	539	444	95
	コア営業利益	65	△14	79
ケミカルズ	売上収益	2,919	1,857	1,062
	コア営業利益	348	△176	524

＜セグメント内識別 業績概要＞

MMA	売上収益	需要が堅調に推移する中、MMAモノマー等の市況が上昇。
	コア営業利益	MMAモノマー等の市況上昇に伴う原料と製品の価格差拡大等により増益。
石化	売上収益	原料価格の上昇に伴い販売価格が上昇したことに加え、エチレンセンターの定期修理の影響が縮小したことや需要の回復による販売数量増加により、増収。
	コア営業利益	定期修理の影響縮小や販売数量の増加、原料価格上昇に伴う受払差の改善により増益。
炭素	売上収益	需要の回復に伴い販売数量が増加したことに加え、輸出コークスの販売価格が上昇。
	コア営業利益	輸出コークス等の市況上昇等により増益。

＜コア営業利益 増減要因＞



＜トピックス＞

- ・日本ポリケム社は、日本ポリプロ社が保有し、ポリプロピレンコンパウンド及びガラス長繊維強化熱可塑性樹脂事業を展開するマイテックス・ポリマーズ・ユーエス社など海外グループ会社6社の株式を取得することを2021年4月に決定し、同年7月に完全子会社化。
- ・三菱ケミカル社及び三菱ケミカルメタクリレーツ社は、アクリル樹脂のケミカルリサイクルの事業化に向け、事業化に向けた実証試験を進めることを2021年5月に決定。両社は、アクリル樹脂の回収、そのケミカルリサイクル及び再利用について、本田技研工業社とともにスキームの検討を進めており、今般の実証設備を用いたリサイクルシステムの実証試験についても共同で実施する予定。
- ・三菱ケミカル社は、Mura Technology社との間で、廃プラスチックから化学製品や燃料油の原料を製造する技術のライセンス契約を2021年6月に締結。

産業ガスセグメントの業績概要

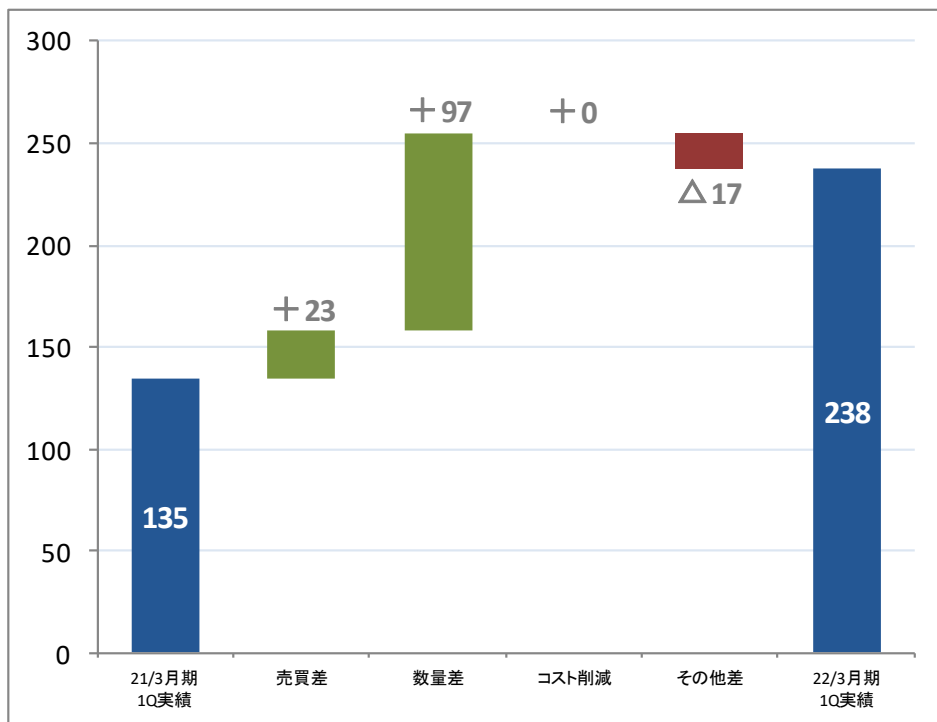
(億円)

		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減
産業ガス	売上収益	2,168	1,829	339
	コア営業利益	238	135	103

<セグメント内識別 業績概要>

産業 ガス	売上収益	国内外の需要が総じて回復。
	コア 営業利益	国内外の需要が総じて回復したことにより増益。

<コア営業利益 増減要因>

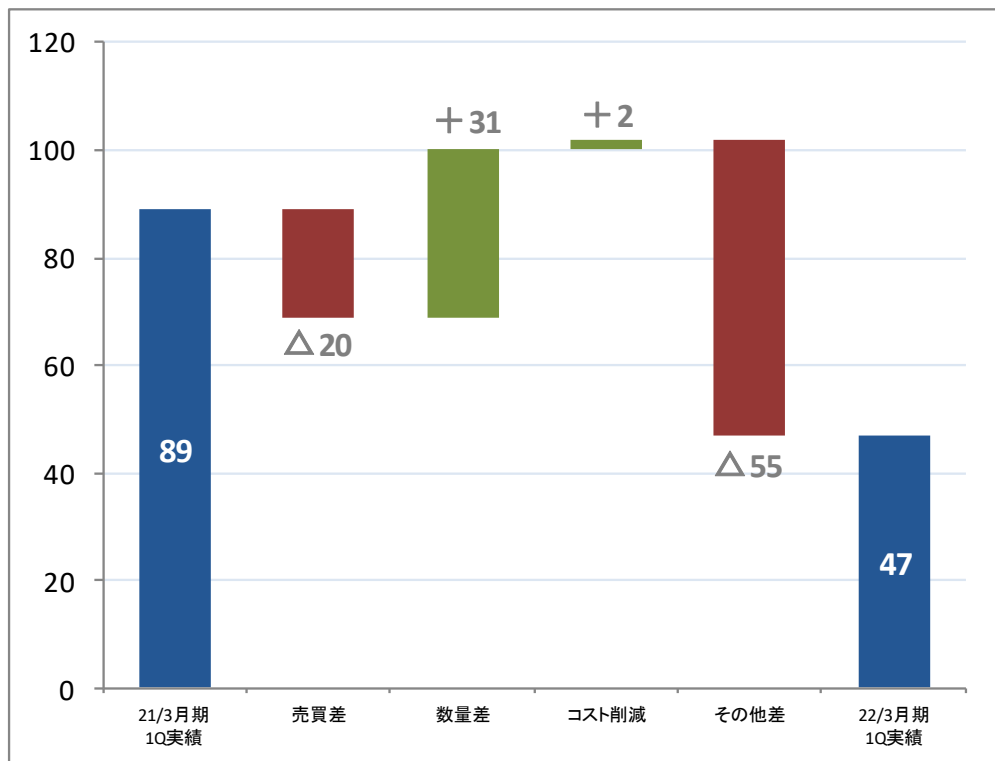


ヘルスケアセグメントの業績概要

(億円)

		22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減
ヘルスケア	売上収益	984	952	32
	コア営業利益	47	89	△ 42

<コア営業利益 増減要因>



<セグメント内識別 業績概要>

ヘルスケア	売上収益	国内医療用医薬品で薬価改定等の影響を受けたものの、重点品の販売数量が伸長したこと等により増収。
	コア営業利益	新型コロナウイルスワクチンの研究開発費の増加等により減益。

注) 多発性硬化症治療剤「ジレニア」のロイヤリティ収入については、2019年2月に仲裁手続きに入ったため、IFRSの収益認識基準に従いロイヤリティ収入の一部について売上収益の認識を行っていません。

<トピックス>

- 生命科学インスティテュート社は、急性心筋梗塞、脳梗塞、表皮水疱症、脊髄損傷、筋萎縮性側索硬化症(ALS)に加え、2021年4月に新型コロナウイルス感染症に伴う急性呼吸窮迫症候群を対象としたMuse細胞製品「CL2020」の臨床試験を開始。

非経常項目

(億円)

	22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	増減
非経常項目 合計	△ 17	87	△ 104
固定資産除売却損	△ 3	△ 2	△ 1
減損損失	△ 1	△ 0	△ 1
固定資産売却益	0	81	△ 81
関係会社株式売却益	-	9	△ 9
その他	△ 13	△ 1	△ 12

【セグメント別内訳】

機能商品	△ 13	8	△ 21
ケミカルズ	△ 0	△ 0	0
産業ガス	-	-	-
ヘルスケア	△ 0	81	△ 81
その他	△ 4	△ 2	△ 2

連結キャッシュ・フロー計算書

	財務諸表ベース		参考) *1 実質ベース (億円)
	22/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績	21/3月期 1Q実績
営業活動によるCF	819	701	701
税前損益	853	204	204
減価償却費	624	596	596
営業債権債務	186	144	144
棚卸資産	△ 344	126	126
その他	△ 500	△ 369	△ 369
投資活動によるCF	△ 574	227	△ 473
設備投資	△ 557	△ 605	△ 605
資産売却	52	146	146
投融資 他	△ 69	686	△ 14
FCF	245	928	228
財務活動によるCF	△ 1,166	723	
有利子負債	△ 930	1,904	
子会社株式追加取得 *2	0	△ 958	
配当 他	△ 236	△ 223	
現金及び現金同等物の増減	△ 921	1,651	
為替換算差等	22	3	
現金及び現金同等物期首残高	3,496	2,282	
現金及び現金同等物期末残高	2,597	3,936	

*1 実質ベースの連結キャッシュ・フロー計算書は、説明を目的として投資活動CFに含まれる手元運用資金の影響を除いたものです。

*2 田辺三菱製薬株式の追加取得(21年3月期 △954億円)

連結財政状態計算書

	(億円)		
	21/6月末	21/3月末	増減
現金及び現金同等物	2,597	3,496	△ 899
営業債権	7,255	7,164	91
棚卸資産	6,136	5,765	371
その他	1,698	1,550	148
流動資産合計	17,686	17,975	△ 289
固定資産	22,693	22,692	1
のれん	6,795	6,719	76
投融資等	5,693	5,486	207
非流動資産合計	35,181	34,897	284
資産合計	52,867	52,872	△ 5

	(億円)		
	21/6月末	21/3月末	増減
有利子負債	24,030	24,824	△ 794
営業債務	4,086	3,823	263
その他	8,364	8,514	△ 150
負債合計	36,480	37,161	△ 681
資本金・剰余金等	12,631	12,265	366
その他の資本の構成要素	358	98	260
親会社の所有者に帰属する持分	12,989	12,363	626
非支配持分	3,398	3,348	50
資本合計	16,387	15,711	676
負債・資本合計	52,867	52,872	△ 5

ネット有利子負債 *1	21,432	21,328	104
ネットD/Eレシオ	1.65	1.73	△ 0.08
親会社所有者帰属持分比率	24.6%	23.4%	1.2%
ROE *2	-	△0.6%	-

*1 ネット有利子負債(21/6月末)

=有利子負債24,030億円-(現金・現金同等物2,597億円+手元運用資金残高0億円)

注) 有利子負債はリース負債を含む

*2 親会社所有者帰属持分当期利益率

2022年3月期 上期業績予想修正

業績予想 連結損益計算書

為替レート (¥/\$)	109.8	110.0	109.9	108.0	1.9	106.3
ナフサ単価 (¥/kl)	47,700	54,000	50,850	48,000	2,850	27,600

				5/12発表 上期予想	増減	乖離率	<参考>	
	1Q 実績	2Q 予想	22/3月期 上期予想				21/3月期 上期実績	増減率
売上収益	9,283	9,317	18,600	17,740	860	4.8%	15,048	23.6%
コア営業利益	887	603	1,490	1,025	465	45.4%	546	172.7%
非経常項目	△ 17	△ 3	△ 20	△ 20	0		△ 827	
営業利益	870	600	1,470	1,005	465	46.3%	△ 281	-
金融収益・費用	△ 17	△ 43	△ 60	△ 70	10		△ 87	
税引前利益	853	557	1,410	935	475		△ 368	
法人所得税	△ 261	△ 179	△ 440	△ 330	△ 110		△ 31	
四半期利益	592	378	970	605	365		△ 399	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	499	291	790	440	350	79.5%	△ 497	-
非支配持分に帰属する四半期利益	93	87	180	165	15		98	

業績予想 事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益

					(億円)		<参考>
		1Q 実績	2Q 予想	22/3月期 上期予想	5/12発表 上期予想	増減	21/3月期 上期実績
全社	売上収益	9,283	9,317	18,600	17,740	860	15,048
	コア営業利益	887	603	1,490	1,025	465	546
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	801	774	1,575	1,390	185	1,230
	コア営業利益	80	65	145	75	70	46
フィルムズ&モールドィングマテリアルズ	売上収益	1,202	1,143	2,345	2,160	185	1,944
	コア営業利益	153	107	260	180	80	109
アドバンスソリューションズ	売上収益	828	892	1,720	1,690	30	1,426
	コア営業利益	33	37	70	70	0	95
機能商品	売上収益	2,831	2,809	5,640	5,240	400	4,600
	コア営業利益	266	209	475	325	150	250
MMA	売上収益	776	824	1,600	1,350	250	1,063
	コア営業利益	123	117	240	170	70	15
石化	売上収益	1,604	1,656	3,260	3,130	130	2,003
	コア営業利益	160	60	220	20	200	△ 157
炭素	売上収益	539	491	1,030	1,000	30	838
	コア営業利益	65	25	90	50	40	△ 39
ケミカルズ	売上収益	2,919	2,971	5,890	5,480	410	3,904
	コア営業利益	348	202	550	240	310	△ 181
産業ガス	売上収益	2,168	1,982	4,150	4,150	0	3,814
	コア営業利益	238	212	450	450	0	356
ヘルスケア	売上収益	984	966	1,950	1,950	0	1,940
	コア営業利益	47	△ 17	30	30	0	134
その他	売上収益	381	589	970	920	50	790
	コア営業利益	△ 12	△ 3	△ 15	△ 20	5	△ 13

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

参考資料①

連結損益計算書 四半期別推移

為替レート (¥/\$)
ナフサ単価 (¥/kl)

109.7	107.7	109.3	109.1
45,400	40,200	41,300	44,800

107.4	105.3	104.0	107.2
25,000	30,200	31,300	38,800

109.8
47,700

(億円)

	20/3月期				21/3月期				22/3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上収益	9,164	9,113	9,031	8,497	7,227	7,821	8,506	9,021	9,283
コア営業利益 *1	701	607	502	138	150	396	590	611	887
非経常項目	△ 2	0	△ 202	△ 301	87	△ 914	△ 302	△ 143	△ 17
営業利益 (△損失)	699	607	300	△ 163	237	△ 518	288	468	870
金融収益・費用	△ 33	△ 49	△ 77	△ 64	△ 33	△ 54	△ 48	△ 11	△ 17
(内、受取配当金)	(29)	(1)	(11)	(1)	(25)	(3)	(7)	(8)	(38)
(内、為替差損益)	(△ 3)	(7)	(△ 28)	(△ 13)	(0)	(△ 4)	(△ 3)	(31)	(△ 0)
税引前利益 (△損失)	666	558	223	△ 227	204	△ 572	240	457	853
法人所得税	△ 182	△ 194	△ 157	10	△ 122	91	△ 125	54	△ 261
継続事業からの当期利益 (△損失)	484	364	66	△ 217	82	△ 481	115	511	592
非継続事業からの当期利益	5	164	-	-	-	-	-	-	-
当期利益 (△損失)	489	528	66	△ 217	82	△ 481	115	511	592
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (△損失)	378	435	△ 50	△ 222	52	△ 549	19	402	499
非支配持分に帰属する当期利益	111	93	116	5	30	68	96	109	93

*1 内、持分法投資損益

50 31 26 27

2 9 42 76

46

*2 非継続事業に係る数値を控除しております。

事業セグメント別 売上収益及びコア営業利益 四半期別推移

		(億円)					(参考)20/3月期 セグメント別コア営業利益			
		21/3月期				22/3月期	20/3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q
全社	売上収益	7,227	7,821	8,506	9,021	9,283				
	コア営業利益	150	396	590	611	887	701	607	503	137
ポリマーズ&コンパウンズ	売上収益	601	629	721	768	801				
	コア営業利益	20	26	49	55	80	55	49	33	27
フィルムズ&モールディングマテリアルズ	売上収益	943	1,001	1,081	1,113	1,202				
	コア営業利益	52	57	103	64	153	95	97	65	23
アドバンスソリューションズ	売上収益	690	736	812	851	828				
	コア営業利益	41	54	28	48	33	54	66	42	19
機能商品	売上収益	2,234	2,366	2,614	2,732	2,831				
	コア営業利益	113	137	180	167	266	204	212	140	69
MMA	売上収益	480	583	595	653	776				
	コア営業利益	△ 19	34	44	72	123	121	94	△ 4	△ 19
石化	売上収益	933	1,070	1,289	1,506	1,604				
	コア営業利益	△ 143	△ 14	33	141	160	18	23	15	△ 44
炭素	売上収益	444	394	464	472	539				
	コア営業利益	△ 14	△ 25	14	35	65	60	29	10	△ 18
ケミカルズ	売上収益	1,857	2,047	2,348	2,631	2,919				
	コア営業利益	△ 176	△ 5	91	248	348	199	146	21	△ 81
産業ガス	売上収益	1,829	1,985	2,061	2,243	2,168				
	コア営業利益	135	221	233	262	238	211	232	222	215
ヘルスケア	売上収益	952	988	1,057	909	984				
	コア営業利益	89	45	90	△ 45	47	91	12	116	△ 54
その他	売上収益	355	435	426	506	381				
	コア営業利益	△ 11	△ 2	△ 4	△ 21	△ 12	△ 4	5	4	△ 12

*1 セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値であります。

*2 21/3月期2Qにおいて、クオリカプス社についてはヘルスケアセグメントから機能商品セグメント(アドバンスソリューションズ)へ変更しております。これに伴い、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

*3 22/3月期1Qより中長期経営基本戦略「KAITEKI Vision 30」における成長事業領域に対応した組織体制の構築に伴い、機能商品の内訳を従来の「機能部材」、「機能化学」の2区分から、「ポリマーズ&コンパウンズ」、「フィルムズ&モールディングマテリアルズ」、「アドバンスソリューションズ」の3区分に変更しております。同時に、一部の事業及び連結子会社の所管セグメントを見直しており、比較情報としての21/3月期実績を組み替えております。

各報告セグメントの事業部門

分野	セグメント	セグメント内訳	事業内容	
機能商品	機能商品	ポリマーズ &コンパウンズ	ポリマーズ	パフォーマンスポリマーズ、サステイナブルポリマーズ、アセチルポリマーズ
			コーティング・アディティブス	コーティング材、添加剤・ファイン
		フィルムズ &モールディング マテリアルズ	フィルムズ	パッケージング、工業フィルム、ポリエステルフィルム
			モールディング マテリアルズ	炭素繊維、アドバンストマテリアルズ、アルミナ・繊維
		アドバンスト	アメニティライフ	アクア・インフラ、ライフソリューション
		ソリューションズ	インフォメーション・ エレクトロニクス	半導体、エレクトロニクス、電池材料
素材	ケミカルズ	MMA	MMA	MMA
		石化	石化	石化基盤、ポリオレフィン、基礎化学品
		炭素	炭素	炭素
	産業ガス	産業ガス	産業ガス	産業ガス
ヘルスケア	ヘルスケア	ヘルスケア	医薬品	医薬品
			ライフサイエンス	ライフサイエンス

参考資料②

(田辺三菱製薬 決算概要)

2021年度第1四半期 決算概要

(2021年4月1日～2021年6月30日)

2021年8月4日

2021年度第1四半期 決算概要



	2021年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2020年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想 2021/5/12公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
売上収益	954	918	+ 36	+ 3.9	4,075	23.4
売上総利益	477	462	+ 15	+ 3.3	2,150	22.2
販管費等	419	366	+ 53	+ 14.5	1,890	22.2
内、研究開発費	188	153	+ 35	+ 22.9	850	22.1
コア営業利益	58	96	△ 38	△ 39.2	260	22.4
非経常項目*	△ 0	81	△ 81	-	40	-
営業利益	58	177	△ 119	△ 67.1	300	19.3
四半期利益（親会社帰属）	31	115	△ 84	△ 73.4	175	17.5
期中平均レート（米ドル）	109.76円	107.38円			110.00円	

* 費用・損失の場合に△と表示

売上収益の内訳



	2021年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2020年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想 2021/5/12公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
国内医療用医薬品	745	733	+ 13	+ 1.7	2,863	26.0
重点品	389	334	+ 55	+ 16.4	1,466	26.5
ワクチン	62	75	△ 13	△ 17.1	370	16.8
長期収載品等	294	323	△ 29	△ 9.0	1,027	28.6
レミケード	104	119	△ 14	△ 12.2	365	28.6
海外医療用医薬品	144	126	+ 17	+ 13.8	1,006	14.3
ラジカヴァ*	63	56	+ 8	+ 13.7	198	32.0
ロイヤリティ収入等	43	38	+ 6	+ 15.7	123	35.3

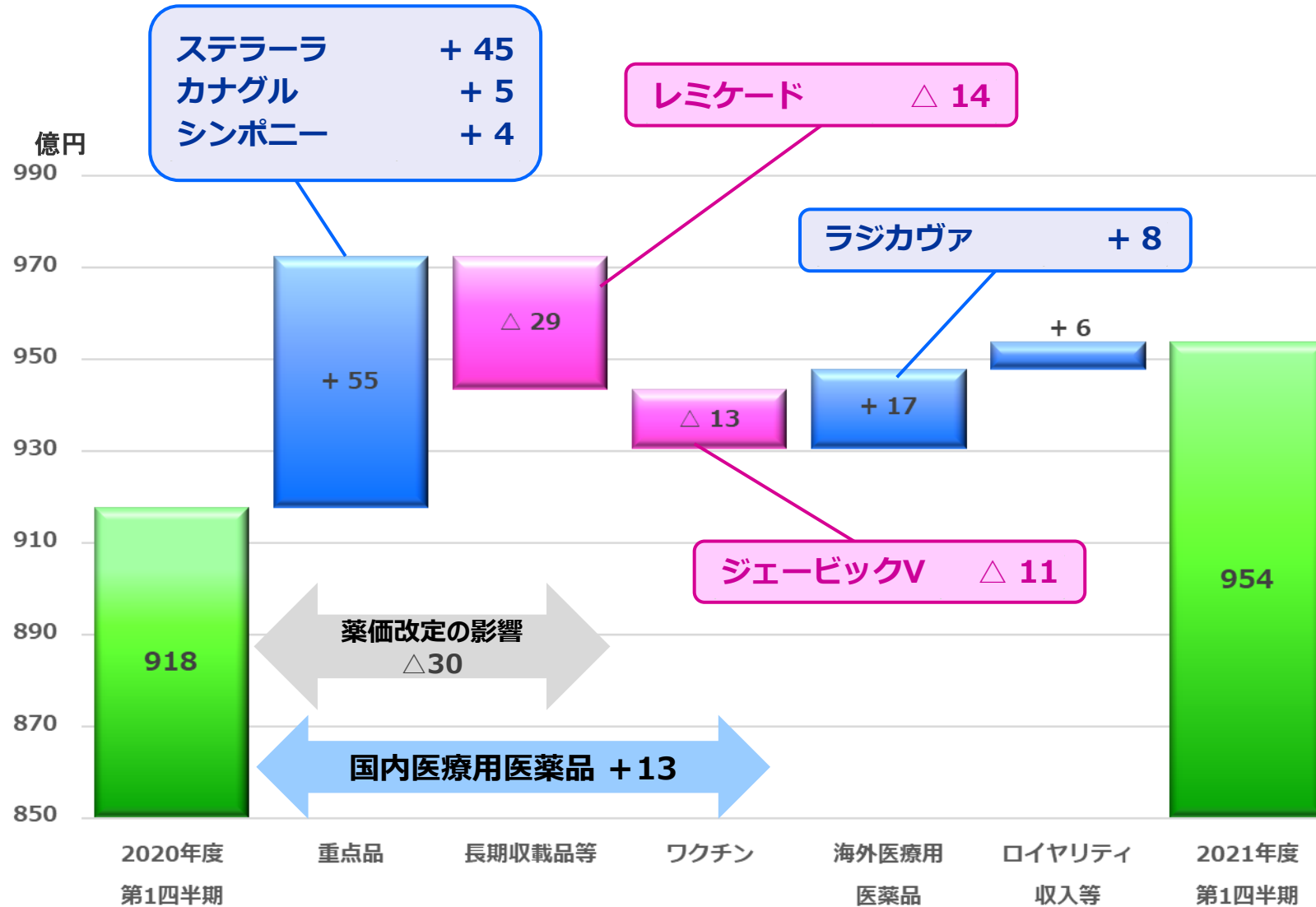
* 2021年5月12日に公表しました「ラジカヴァ」の2021年度通期予想数値に誤りがありましたので、次の通り修正しております。
修正前) 192億円 修正後) 198億円

重点品およびワクチン売上収益



	2021年度 第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		2020年度 第1四半期	増減額	増減率	通期予想 2021/5/12公表	進捗率
	億円	億円	億円	%	億円	%
ステラール	114	70	+ 45	+ 64.0	427	26.7
シンポニー	111	107	+ 4	+ 4.0	412	26.9
テネリア	38	41	△ 3	△ 6.4	144	26.7
カナグル	30	25	+ 5	+ 18.3	101	29.7
カナリア	25	25	△ 1	△ 2.5	93	26.5
バフセオ	1	-	+ 1	-	13	6.1
レクサプロ	39	39	+ 1	+ 1.9	141	28.1
ユプリズナ	1	-	+ 1	-	14	9.3
ルパフィン	19	17	+ 2	+ 12.3	89	21.0
イムセラ	11	11	△ 0	△ 1.7	33	32.8
重点品合計	389	334	+ 55	+ 16.4	1,466	26.5
インフルエンザワクチン	△ 0	△ 0	+ 0	-	143	△ 0.0
テトラビック	26	27	△ 1	△ 3.8	108	23.9
ミールビック	19	19	△ 0	△ 1.0	57	33.1
水痘ワクチン	11	13	△ 1	△ 11.6	41	27.1
ジェービックV	3	14	△ 11	△ 76.0	13	27.7
ワクチン合計	62	75	△ 13	△ 17.1	370	16.8
重点品・ワクチン合計	451	410	+ 42	+ 10.2	1,837	24.6

売上収益の増減



研究開発の状況 等

開発進捗状況：中枢神経領域

① 中枢神経領域

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-1186	ALS / 経口懸濁剤	グローバル	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験（長期安全性試験）を実施中 米国での承認申請を予定（3Q）
ND0612	パーキンソン病	グローバル	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中
MT-0551	重症筋無力症	日本*	P3	<ul style="list-style-type: none"> グローバルP3試験を実施中
MT-5199	遅発性ジスキネジア	日本	申請	<ul style="list-style-type: none"> 承認申請（4月）

* ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

開発進捗状況：免疫炎症領域、ワクチン

② 免疫炎症領域

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況
MT-7117	赤芽球性プロトポルフィリン症(EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症(XLP)	グローバル	P3	・ グローバルP3試験を実施中
MT-5547	変形性関節症	日本	P2/3	・ P2/3試験終了
MT-0551	IgG4関連疾患	日本*	P3	・ グローバルP3試験を実施中

③ ワクチン

治験コード	適応症	地域	開発段階	進捗状況（青字は今回の変更点）
MT-2766	新型コロナウイルス感染症予防 (植物由来VLP**ワクチン)	グローバル	P3	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバルP3試験を実施中 ・ カナダでの承認を予定（3Q）、2021年内の実用化をめざす
MT-2355	5種混合ワクチン***	日本	P3	・ P3試験終了

* ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

** VLP (Virus-Like Particle) : ウィルス様粒子

*** 小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、急性灰白髄炎およびHib感染の予防

■ 視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）の適応で発売

薬剤分類	ヒト化抗CD19モノクローナル抗体製剤
特長	B細胞から形質芽細胞/形質細胞まで広く除去できる新規メカニズム 投与間隔が半年に1回で利便性が高い
患者数	約4,000人（日本）*
発売月	2021年6月
売上予想	59億円（発売8年目ピーク時）



■ 適応追加として、2つの疾患でグローバルP3試験を実施中**

① 重症筋無力症

- 眼球や手足の筋肉の筋力低下が起こり、すぐに疲れて力が入らなくなる疾患。目の症状が主となる眼筋型と、全身型の2種類がある
- 国内患者数：約23,000人*

② IgG4関連疾患

- 全身の様々な臓器が腫れたり、硬くなったりする原因不明の疾患。免疫グロブリンの1つであるIgG4が血液中で高い特徴が認められる
- 国内患者数：約8,000人*

* 難病情報センターHP <https://www.nanbyou.or.jp/>

** ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発

「エクサヴァン（リルゾール経口フィルム製剤）」を米国で発売（6月）

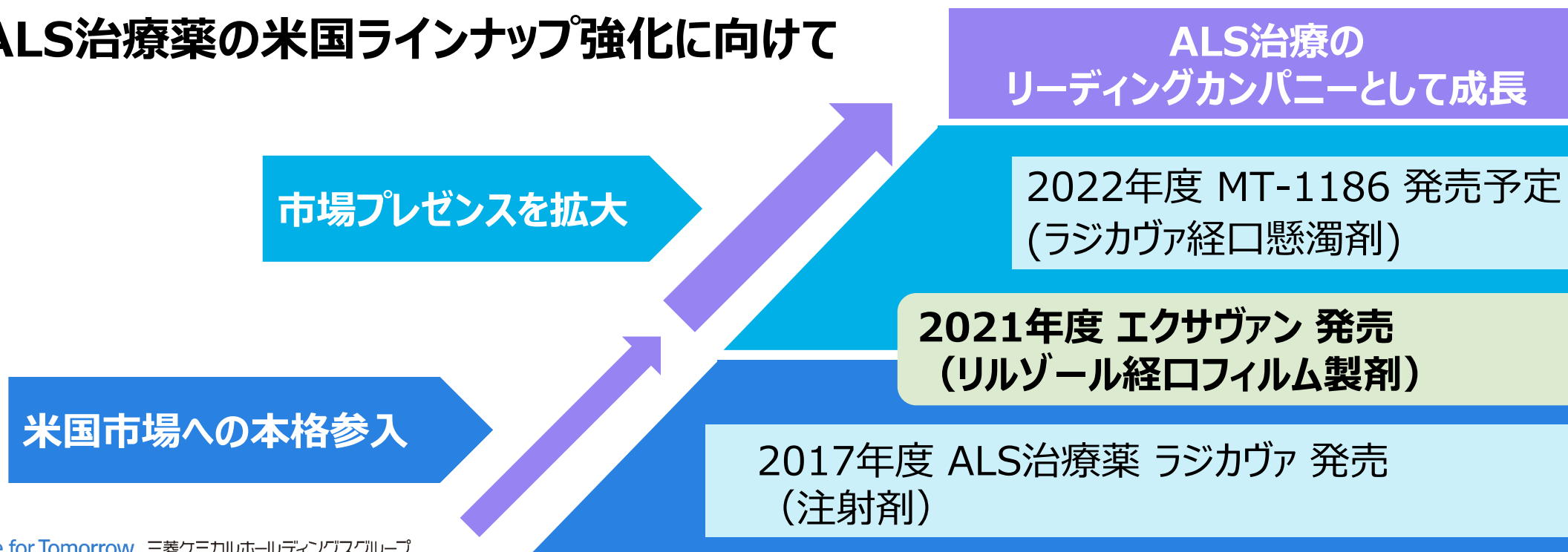
■ エクサヴァンの特長



＜投与方法・イメージ＞

- 経口フィルムにより素早く溶解し、嚥下障害を併発しているALS患者さんの利便性が向上
- 「ラジカヴァ」との併用が可能

■ ALS治療薬の米国ラインナップ強化に向けて



「テネリアOD錠」を国内で発売（6月）

■ DPP-4阻害薬として国内初のOD錠

- 2型糖尿病における高齢の患者さんや嚥下機能が低下した患者さんのさらなる利便性や服薬コンプライアンスの向上



■ 2型糖尿病と向き合うすべての人に新たな選択肢を

当社が創製した
2つの異なるメカニズムの糖尿病治療薬

DPP-4阻害薬と
SGLT2阻害薬の
国内初の配合剤

アンメット・メディカル・ニーズに応える
治療選択肢の充実

2012年度
DPP-4阻害薬「テネリア」発売

2014年度
SGLT2阻害薬「カナグル」発売

2017年度
テネリアとカナグルの配合剤
「カナリア」発売

2021年度 剤形追加
「テネリアOD錠」発売

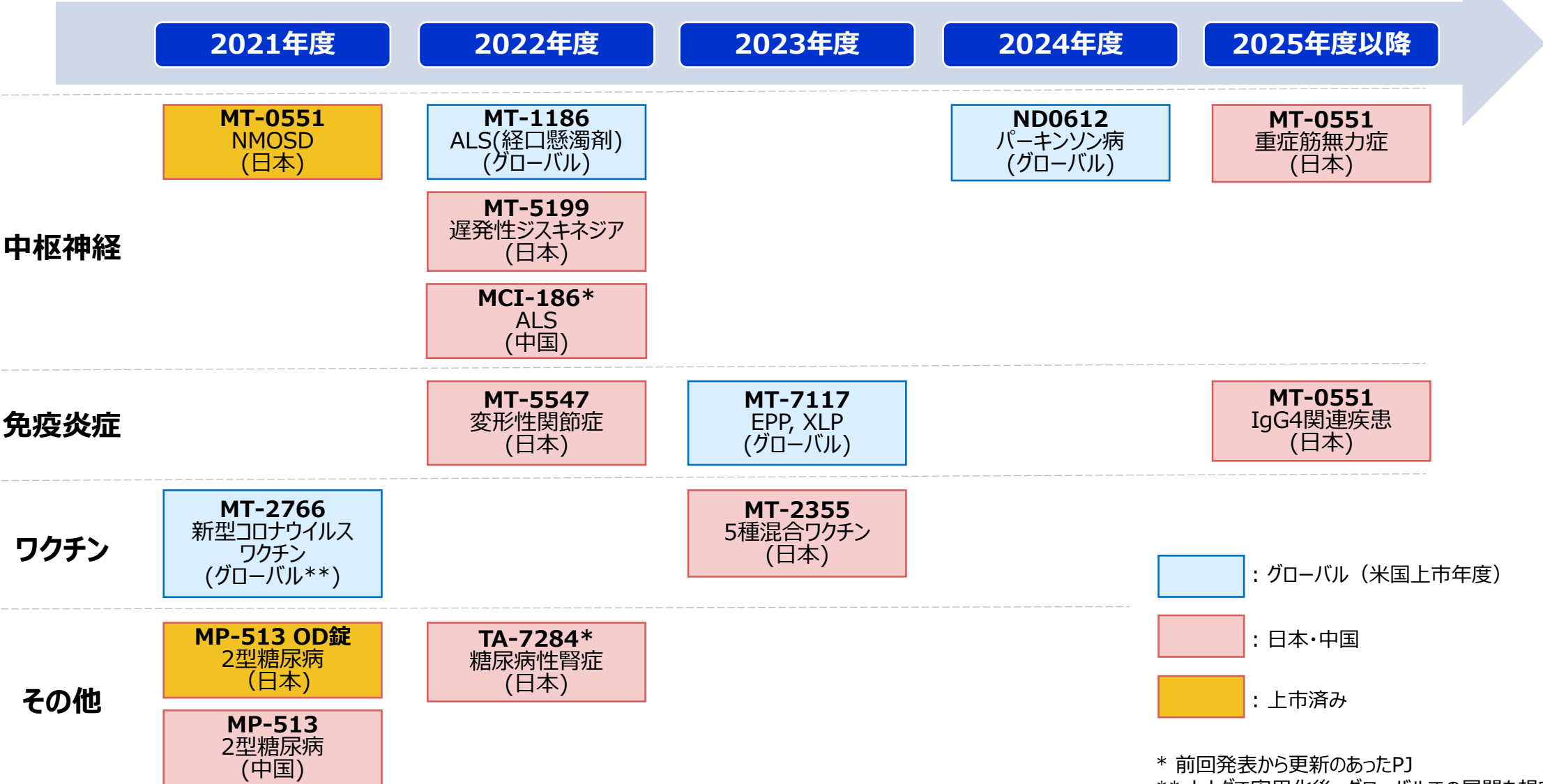
2022年度 効能追加 予定
「カナグル」糖尿病性腎症

主な開発パイプライン 一覧

領域	治験コード	開発地域	適応症	P1	P2	P3	申請	承認
中枢神経	MT-1186	グローバル	ALS / 経口懸濁剤					
	ND0612	グローバル	パーキンソン病					
	MT-3921	グローバル	脊髄損傷					
	MT-0551	日本	視神経脊髄炎スペクトラム障害 (NMOSD)					3月
		日本*	重症筋無力症					
MT-5199	日本	遅発性ジスキネジア						
免疫炎症	MT-7117	グローバル	赤芽球性プロトポルフィリン症 (EPP) X連鎖性プロトポルフィリン症 (XLP)					
		グローバル	全身性強皮症					
	MT-2990	グローバル	子宮内膜症					
	MT-5547	日本	変形性関節症					
	MT-0551	日本*	IgG4関連疾患					
ワクチン	MT-2766	グローバル	新型コロナウイルス感染症の予防					
	MT-2654	グローバル	季節性インフルエンザの予防 / 高齢者					
	MT-2355	日本	5種混合ワクチン					
その他	TA-7284	日本	糖尿病性腎症					

* ホライゾン・セラピューティクス社と共同開発（グローバル試験実施中）

主な開発パイプラインの上市計画



: グローバル (米国上市年度)
 : 日本・中国
 : 上市済み

* 前回発表から更新のあったPJ
 ** カナダで実用化後、グローバルでの展開を想定

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。

医薬品（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、それらは宣伝・広告や医学的なアドバイスを目的とするものではありません。



病と向き合うすべての人に、
希望ある選択肢を。

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは各種機能商品、MMA、石化製品、炭素製品、産業ガス、医薬品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。